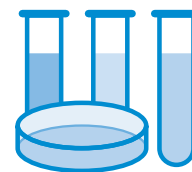


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

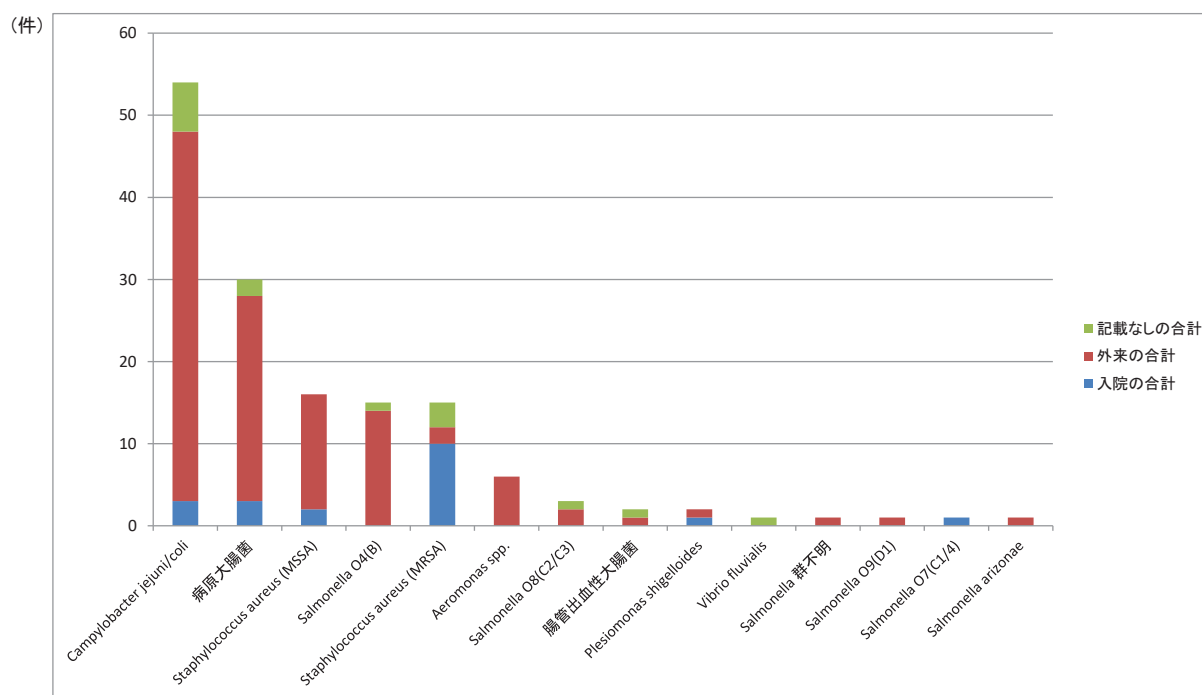


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、糞便の細菌検出状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【糞便】細菌検出状況 2021年08月



2021年8月の糞便の細菌検出状況では、*Campylobacter jejuni/coli*が一番多く検出されており、また、*Plesiomonas shigelloides*は2件検出されています。

*Plesiomonas shigelloides*は淡水、河川水に生息し、水媒介性感染症の原因となります。我が国での分離頻度は少なく、東南アジアなどの海外旅行者から検出される場合があります。臨床症状は下痢や腹痛が主で、時に発熱や敗血症を起こすことがあります。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係